



岐阜大学機関リポジトリ

Gifu University Institutional Repository

間隙径分布からみた地盤注入とその応用に関する研究

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2008-03-12 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 宇野, 尚雄 メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12099/233

は し が き

本研究は、平成4年(1992年)の春頃に神谷君が見つけてきたZagarの論文(1956)から飽和した多孔質体へ空気を圧入する方式の装置を試作して間隙径分布を計測し始めたことに端を発している。これを「空気圧入法」と称しているが、砂質土の間隙を毛管の集合体とみなす原理に基づく。これにより計測された間隙径は粒度と密接な関係をもつと同時に、注入工法における注入材粒度の適正な指標が研究可能となった。この視点から実施した研究成果であるが、また別に推進工法における注入滑材効果を調べるためのリングせん断試験が不十分に終わったが、注入材粒度についての基礎的な研究として、空気流による注入実験で指針となる成果が挙げられたことを報告する。読者諸氏のご批判をお願いする次第である(宇野記す)。

目 次

はしがき	
研究組織・研究経費	1
研究発表	2
研究目的	3
研究成果	4
1. 「空気圧入法」により計測する間隙径分布	4
2. 砂層への空気流による粒子注入実験	8
3. 推進工法の課題への応用	14
4. まとめ	15
付録：研究発表別刷の再掲載	16

研究組織

研究代表者： 宇野 尚雄 (岐阜大学工学部教授)
研究分担者： 神谷 浩二 (岐阜大学工学部助手)

研究経費

平成7年度	2,000千円
平成8年度	2,800千円
計	4,800千円